



いい仲間、いい仕事、三栄会

SAN-EIKAI San-ei news

編集兼発行人：三栄会広報委員会 事務局：東京都千代田区大手町1-2-1 三井物産(株)事業管理部企画室内
TEL.(03)3285-7816 三栄会ホームページ URL: http://www.san-eikai.or.jp
Eメールアドレス: SaneikaiTKAOI@mitsui.com 制作：株式会社三幸企画

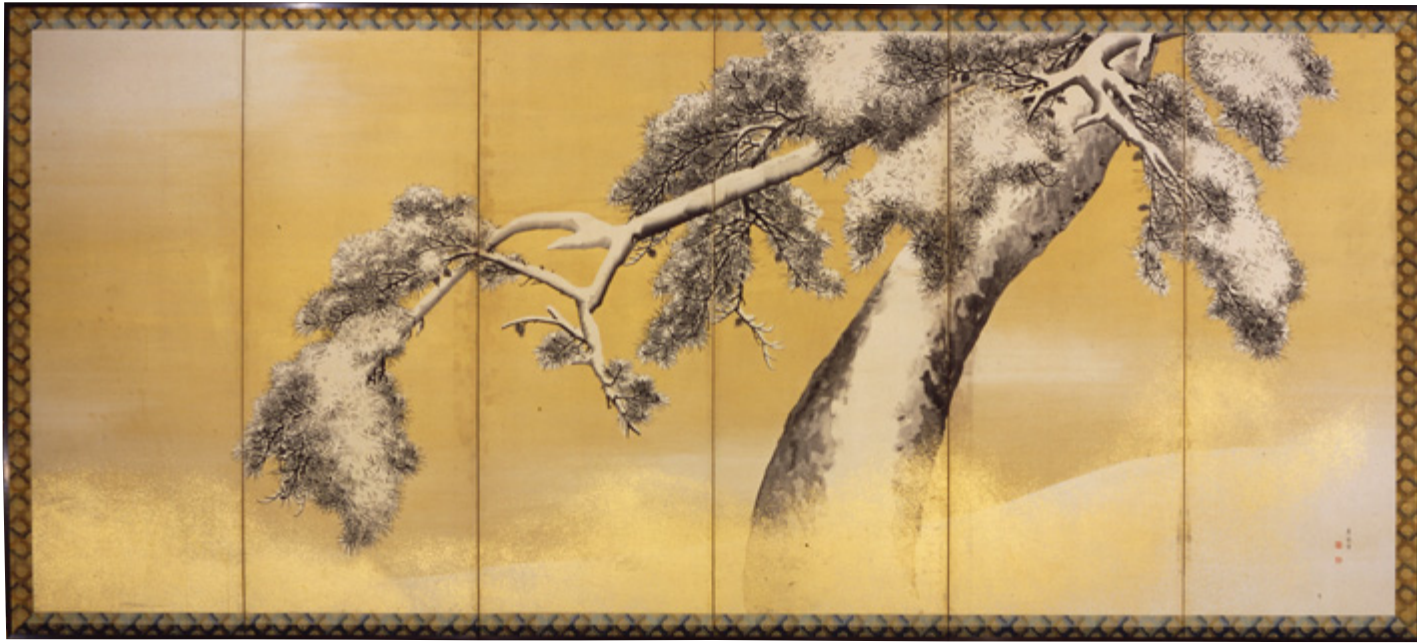


初企画 文化交流委員会主催

「三栄会美術鑑賞会」開催

平成二十二年一月四日「三栄会美術鑑賞会」が開催されました。その特色は、内容の豪華さです。日本橋の三井記念美

術館の閉館後に三栄会賛助として、学芸員の解説付きで展示作品を堪能しようという企画。さらに盲導犬協会への寄付協力付きです。三井記念美



国宝「雪松図屏風」(右隻)

術館は、昨年所蔵の「旧金剛宗家伝来能面」五四面が一括して重要文化財の指定を受け、例年の新春企画である円山応挙の雪松図と一緒にこの重文五四面をペアにした豪華「国宝 雪松図と能面」というプログラムです。午後六時三〇分、日本橋の三井本館一階に集合し、七階の三井記念美術館のレクチャールームへ入りしました。もう閉館して我々だけの美術館になっていますから、参加者の声以外まったく騒音はしません。今回の幸運な参加者は二四名でした。まず、学芸員の方に展示の概要を紹介いただいた後、早速鑑賞に出発です。美術館は重要文化財建造物に指定されていた日本橋室町の三井本館を移築したもので、昔の贅を尽くしたクラシックな建物で美術館に相応しい格調高い建物といえます。この三井記念美術館を二四名で独り占めしているわけですから、「とても贅沢だなあ〜」

という感じがひしひしと伝わってきます。今回の見所は三つです。その一は、「能楽に關係する茶道具」。能や能面に關わりのある銘が付けられた茶道具などが展示されていました。例えば能や歌舞伎で有名な「俊寛」の銘が付けられた重要文化財の長次郎作の黒檜茶碗などが展示されています。

その二は、能面です。能面には翁、尉、鬼神、男、女に分けられて、種類別に展示されています。能面の基本的なタイプ



能面「孫次郎」

が全て揃っており、しかもその五四面全てが重要文化財なのです。素晴らしく圧巻ということが出来るでしょう。展示は、女の能面なら、若い面から年寄りの面へと順番に展示されているので、とても分かりやすく興味を持てます。そして最後は、国宝「雪松図屏風」です。円山応挙の有名な冬の松の絵ですから、皆

さんもお存知でしょう。誰もいない展示室の中で名画と対面するのは至福の時間といえるでしょう。この絵の描き方を学芸員からお聴きしたのですが、松の枝に載った雪は、白い絵の具を塗ったのではなく、松の墨の部分を残すことにより雪が浮かんでいるように見えるのとこのとで、あの雪の白は、下地の紙の色なのだそう。まったく知りませんでした！ 皆さんも今度三井記念美術館へ行かれた際には、雪松図屏風を良く見て確かめてください。このように、参加者は十分に三井記念美術館で展示作品を堪能されました。最後に、盲導犬協会への寄付は五、五〇〇円集まり、終了後協会の方へ寄付されました。皆さんご協力ありがとうございました。

(広報委員会 日本ユニシス(株)前田)

昨年二月から本年一月末までをキャンペーン期間として皆さまにご協力をいただきました盲導犬募金活動の結果をご報告いたします。既に三栄会ホームページには掲載しておりますが、ご賛同いただいた会社は四一社。また今回初めての試みとして、ポウリング大会、森林フェスタ、美術鑑賞会の参加者にもご協力をいただきました。お陰をもちまして、募金総額は一、二六七、八三四円と三年計画で進めてきましたこの活動の最終年に募金額一〇〇万円を突破することができました。これによりこの三年間の募金合計は二、四六〇、五五一円となります。目標の盲導犬一頭の飼育総費用約四〇〇万円は達成できなかったものの、皆さまの暖かい心遣いに感謝いたします。今後とも本活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

(文化交流委員会)

- 盲導犬募金協力会社41社 (50首順、敬称略)
- 朝陽貿易(株)
 - アミコ(株)
 - MOSデンレスセンター(株)新潟支社
 - エムケーメタルソリューション(株)
 - 王子コーンスターチ(株)
 - 川上塗料(株)
 - 極東石油工業(株)
 - クロリンエンジニアズ(株)
 - 甲南埠頭(株)
 - サンエイ糖化(株)
 - JA三井リース(株)
 - ジャパンオルタナティブ証券(株)
 - 朝陽貿易(株)
 - 東邦倉庫(株)
 - 東邦物産(株)
 - 東洋船舶(株)
 - トライネット・ロジスティクス(株)
 - 新潟鋼機(株)
 - 日商リネンサプライ(株)
 - 物産機械情報サービス(株)
 - 物産フアシリテイサービス(株)
 - 物産不動産(株)
 - 三井情報(株)
 - 三井食品(株)
 - 三井製糖(株)
 - 三井物産メタルズ(株)
 - 三井物産インターファッション(株)
 - 三井物産エレクトロニクス(株)
 - 三井物産鋼材販売(株)
 - 三井物産エアリアルトレード(株)
 - 三井物産セネラルサービス(株)
 - 三井物産バックケージング(株)
 - 三井物産ビジネスサポート(株)
 - 三井物産フィナンシャルサービス(株)
 - 三井物産フォレスト(株)
 - 三井物産ベトリウム(株)
 - 三井物産マーケティング(株)
 - 三井物産メンテナンス(株)
 - 三井物産メタルズ(株)



東京三栄会文化交流委員会 社会貢献活動報告

盲導犬募金キャンペーン協力に御礼申し上げます

東京三栄会 文化交流委員会 文化教室活動報告

文化教室特別教室・合同懇親会を開催しました。

文化交流委員会主催の文化教室（料理・写真・絵画）は二〇〇六年一〇月の開講以来二年余りで、開催数延べ七七回、受講者数延べ九七四名の皆様にご参加いただき、昨年二月を持ちまして一旦閉講となりました。この閉講にともない総括として各教室一回限りの特別教室と三教室合同懇親会を開催しました。その様子をご案内しましょう。

写真教室

まず初めは写真教室です。一月十七日土曜日午後三時、石川町駅に集合したのは総勢二二名、過去最高の出席者数です。横浜の洋館めぐり、外国人墓地から港の見える丘公園そして中華街までのコースを撮影し、終了後はそのまま中華街で懇親会を開催する企画です。

講師はフォトジャーナリストの篠利幸先生。イタリアを第二の故郷とする通称イタトラ先生。イタトラとはイタリアの寅さんの略称です。年に何度もイタリアで過ごし、優しい語り口で気さく、人情味あふれ下町



撮影を終えて中華街関帝廟前で全員集合

好きの先生はまさにイタトラです。そんな先生の二回目の講座がこの特別教室です。とにかく二名の撮影隊が被写体を求めカメラ片手にぞろぞろと歩くわけですからさあ大変。解説するのも一苦労。連絡事項を伝えたくてもいつも誰かがいない！ そんな撮影隊の最初の場所はイタリア山庭園。一時間の撮影を楽しんで後は山手本通沿いの洋館や教会を撮りながら外国人墓地へ到着。天候には恵まれたものの冬の午後。薄暗い中、夕暮れ時の撮影方法の解説を受けた後に撮影隊が目にしたステキな被写体。それは夕暮れの外国人墓地を眺める一組のカップルのうしろ姿でした。早々にみんなでこっそり撮影開始。数分後、何気なく背後に変な気配を感じたのでしようか。怪訝そうな顔をされ、そのままどこかに去って行ったのです（当たり前ですね。カップルさんごめんなさい！）。

さあ気を取り直して次は港の見える丘公園での夜景撮影です。寒さも増してお腹も空いて。横浜港を眼下に夜景の撮り方を勉強したら最後の目的地、中華街へ直行です。途中撮影しながらも皆さん早いこと早いこと。撮影隊は迷子も脱落者もなく全員無事六時過ぎに関帝廟に着。記念撮影終了後一旦解散となりましたが、その後は有志による懇親会です。小さな中華料理店でお腹を満たしながら篠先生が写真家になられたきっかけや写真に対する情熱や心得を伺い和気藹々とした中、今までの思い出話に閉講を惜しみつつ、解散となりました。

料理教室

次は二月六日の料理教室です。開催数は三〇回と教室の中では一番人気。NHK「今日の料理」などでもおなじみの河野雅子先生を講師にお迎えしての最後の教室は、応募者数八〇名と過去最高記録を更新。その激戦に打ち勝った二〇名の受講者が作るメニューは簡単かつ豪華で美味しいイタリアンです。ブルケッタ二種・アクアパッツァ・鶏のアンチョビーパン粉焼き・リゾット・いちごのパナコッタと、いつもより品数

も多く手際が勝負の課題に皆さん真剣な眼差しで挑戦です。河野先生のデモンストレーションもいつもより気合が入ります。でも大丈夫！ 初参加の方は河野先生とアシスタントのリードの素晴らしいに、また今まで数回参加された方はその上達振りを物語るがごとく順調に仕上がっていきます。全部仕上がると待っているのは試食タイムです。美味しさはもちろん抜群！ 試食しながら思い

出話や料理の質問などに会話の花が会場いっぱい咲き乱れます。堀内文化交流委員長の気さくで楽しい挨拶、この教室を優しく見守ってきた豊島共通世話人の挨拶、そしてとにかくチャーミングで教えることが大好きな河野先生の受講者への心のこもったご挨拶が終わりすべて終了。しかし雰囲気がいともと違っています。



河野先生のデモンストレーションにも気合いが入ります



出来上がったお料理です

絵画教室

解散の時間となっても教室の閉講と河野先生との別れを惜しむように帰ろうとしない受講者達。先生との会話を終らせない一夜でした。

さて教室のシンガリは二月四日開催の絵画教室です。講師は女子美術大学の教授でもある古武研司先生。地下鉄副都心線北参道駅のアーティストスペースにある大きな壁画の作者です。参加者の個性を活かす教え方、そしていつも何が起るか分からないハプニング続出の楽しい講座を二五回担当していただきました。そこで今回は先生の数々の作品への情熱や秘話・その手法などをご自身で解説していただき、古武ワールドを徹底解剖しようと、始まらないと何が飛び出すか分からないびっくり箱の

ような企画を立てました。そしてよいよ当日。いつも出席されるメンバーは全員先生のファン。ワクワクしながら一〇名が集まりました。結果は想像以上のびっくり箱講座。先生の生い立ちから始まり二回親への思い・学生時代の苦悩・恩師の影響・家族への思いなど、今まで見ることなかった先生の繊細な一面や秘めた情熱を全員がしっかりと受け止めた非常に興味深く有意義な二時間となりました。「ここまで知ると今後吉武先生の作品を見る目がより深くなる」とは皆さんの感激の感想です。

その後は受講場所の会議室をそのまま会場に懇親会の始まりです。持ち込んだワインや手料理に会話は深まり師弟関係がさらに深化した二時間です。「このまま別れたくないコール」が飛び交う中、再会を約束し四時間の幕を閉じました。



吉武先生を囲んで

合同懇親会

そして最後は三月二日、三時間にわたる三教室合同懇親会です。講師関係者として過去の受講者が一同に会し、教室は一旦閉講しても「今まで培ったものを今後に繋げるため」の企画です。雨の中、会場である大手町のレストランに四〇名が駆けつけました。「記憶に残る懇親会」と銘打った合同懇親会の始まりです。三栄会橋本副会長の「挨拶と乾杯か

最後に...

この文化教室は普通のカルチャーセンターと違い、受講者が固定されないため先生方は教え方に大変苦勞なさいました。初心者と経験者がいっつも入り混じり条件の全く違う中で、初参加者や一回だけの参加者にも理解できるように、また継続しての参加でも飽きないように講座の楽しみ方を常に工夫していただきました。難しい条件の中でここまで継続できたことはそれが可能な各界で一流の先生方をお迎えできたこと、またそれを理解し楽しんで受講してくださった方々、各方面でご協力いただきました関係者の方々がいらしてこそです。受講者はもとより先生方、関係者などからも閉講を惜しむ声をたくさんいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

（文化交流委員会）

二二社総勢二二〇名が参加

東京三栄会
新人研修開催

本年も東京三栄会研修委員会主催「新人社員研修」が四月七日から一〇日まで二回に分け、湯河原の三井物産人材開発センターにて行われました。

ここ数年受講申し込みが多いため、今回も四月七、八日および、九、一〇日の各々二泊二日程の二回開催としました。受講者は一回目一六社六一名、二回目六社五九名(各班編成)の合計二二二〇名の参加となり、また、講師は本研修ベテランの嶋田寿孝、矢野克明両講師に担当をお願いしました。



吉岡東京三栄会研修委員長による開催挨拶

従来から本研修は、社会人、企業人としてのマナー、基礎、常識の習得のほか、三栄会各社の新入社員の交流も大きな目的としており、三栄会紹介DVDを放映し、吉岡東京三栄会研修委員長の開講挨拶と社会人としての心構えの講話により始まり、オリエンテーションの後二班に分れ研修に入りました。

研修は主にグループ討議を中心に行うため、各班とも五グループに分け、講義も討議もグループ単位で行い、「学生と社会人との違い」などの課題について受身ではなく自ら考え、発言、討議し、グループごとに

(研修委員 中央ビルト工業株) 大久保

結論をまとめ、発表させるグループワークに重点をおいていました。研修開始後緊張気味だった受講者も、講師の好リードとグループワークを重ねる中で次第に打解けて、活発な発言が始め、研修終了時ではしっかり連帯感と組織人、社会人意識が生まれていました。

一日目の研修終了後、恒例の夕食を兼ねた立食懇親会が講師も交え行われ、まず、受講者代表者の乾杯で始まり、早速会食懇談に入りました。所属する会社組織は違っても同じ新入社員同士であり、会話も弾み、大いに飲み、大いに盛り上がり、懇親会終了後は談話室で飲み物を持ち込み、遅くまで語り合い交流を深めていました。

いよいよ2日間の研修も終わりを迎え、お互いの連絡先の交換をし、再会を約束して駅までのバスに乗り込み解散しました。全体に今回の受講者は真面目で、後片付けなども積極的に行っていました。また、三栄会でこのメンバーが集まれるフォローアップ研修や企画を是非作って欲しいとの要望が出ていました。



裁判員制度講演会開催

四月二日(木)、三井物産本店地下一階の中ホールにて最高検察庁より、藤田裁判員公判部長を講師としてお迎えし、今年五月二日よりスタートする「裁判員制度」について「司法制度改革—なぜ裁判員制度なの?」の演題で講演いただきました。

- ① 司法制度改革の必要性
- ② 裁判員制度の導入の理由と意義
- ③ 裁判員裁判の概要
- ④ 裁判員裁判の円滑な実施と定着に向けて

四月二日(木)、三井物産本店地下一階の中ホールにて最高検察庁より、藤田裁判員公判部長を講師としてお迎えし、今年五月二日よりスタートする「裁判員制度」について「司法制度改革—なぜ裁判員制度なの?」の演題で講演いただきました。藤田部長は、地方検察庁の検事、法務省保護局長などを歴任され、最高裁が設置した「裁判員制度の運用等に関する有識者懇談会」の委員でもあります。検事時代の現場での貴重な体験談や、実際に裁判員候補者に配布される資料などを用いながら、

特に法律の知識は必要なく、争点は検察、弁護側の主張から裁判官が指摘します。量刑は検事の求刑が目安となります。対象となる事件は、国民の関心が高い重大事件だけで、平成一九年の資料では全国で二、六四三件、一年間で裁判員になる確率は、約五、〇〇〇人に一人となるそうです。

四月二日と三日には、日本経済新聞に裁判員制度についての記事が掲載されています。今回の講演会に参加したおかげで、記事の内容が違和感なく読み取れる自分に気づきました。確かに人が人を裁く、これは大変難しいことだと思えます。しかし、それを確りと支えてくれる制度がある、それが裁判員制度です。ぜひ、皆さんも正しい理解をもって裁判員制度に参加してみてください。

よくわからない方、詳しくお知りになりたい方は、(http://www.sabain.courts.go.jp)をご覧ください。最高裁判所(〇三—三二六四—八一一)にお問い合わせください。自分にもできる、やってみたいと感じていただけたらと思います。



藤田裁判員公判部長による講演

(広報委員 三井物産ファイナンス株) サービス株/石河

エネルギー分科会・講演会開催 乱高下する原油価格と国際エネルギー情勢について

四月二〇日(月)、エネルギー分科会(世話人、藤井三井石油(株)代表取締役社長)主催の講演会を、講師に(財)日本エネルギー経済研究所の小山堅氏をお招きし、三井物産(株)本社ビル(二二階特別会議室)において開催しました。参加者は、金属・エネルギー部会メンバーを中心に特



(財)日本エネルギー経済研究所小山堅氏による講演

別会員である三井物産の方々、またオプザバーとして化学部品部の方々も加わり総勢九五名となりました。講師である小山氏の研究分野は国際・エネルギー情勢の分析やアジア・太平洋地域のエネルギー市場・政策動向の分析、エネルギー安全保障問題と広範囲



総勢95名が参加

にわたっており、特に本講演のテーマ「乱高下する原油価格と国際エネルギー情勢について」に関しては日本の第一人者です。講演会では、小山氏が先ごろヨーロッパにて開催されたIEAの世界エネルギー長期見通(World Energy Outlook)策定会

も含めて、お話しが進められました。その一部を紹介しますと、二〇〇九年度の国際石油情勢の見通しについて、市場は弱含み基調であり、二〇〇八年度市場との違いは需給緩和・大幅な原油価格の下落が大きい、世界経済や石油需給の展開次第では、原油価格(WTI)は、基準ケースは四五〇\$/Bbl前後、低価格ケースは三五〇\$/Bbl、高価格ケースは六五〇\$/Bblと大きな価格変動、高いボラティリティが持続することは必至な状況にあるという説明をいただきました。その後、参加者との活発な質疑応答が行われ、非常に有意義な時間となりました。

講演終了後、三井物産ビル本社ビル別館東京會館にて小山氏も交え約七〇名参加のもと盛大かつ和やかに懇親会が行われました。
(三井石油(株)/大沢)

Business Corner ビジネス・コーナー

四季で奏でる純米清酒 三井食品(株) オリジナル清酒

女性にもっと日本酒を身近な物に感じて欲しいと願い、京都伏見の招徳酒造(株)と共同制作しました。ポト



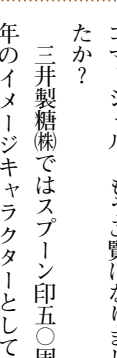
夏限定「夏の戯れ」 四月二七日・七月八日発売
二〇〇七年ポトルデザインアワード クロワッサン賞受賞

ルデザインは弊社女性スタッフにアンケートを行い、招徳酒造の女性杜氏(大塚真央氏)にイラストを描いていただきました。穏やかな香りと米の旨味の活かしたまろやかな純米吟醸の味わいをお楽しみください。
●お問い合わせ
三井食品(株)オリジナル商品部
電話:〇三三三五五一一四二二



春限定「春の舞」 二〇一〇年二月二四日発売

秋限定「秋の水画」 九月一九日発売
冬限定「冬のさんぽ」 十一月二日・十一月一日発売



各一四〇ml 四六六円(税込み)にて発売

「エビちゃん」がスプーン印五〇周年記念のイメージキャラクターに！赤と白をバックにエプロン姿の「エビちゃん」スマイル全開のテレビコマーシャル、もうご覧になりましたか？

三井製糖(株)ではスプーン印五〇周年のイメージキャラクターとして、雑誌「AneCan」で活躍中の「蛇原友里」さんを起用し、キャンペーンを展開中です。老若男女問わず幅広い層から支持されている「エビちゃん」を起用することで、五〇年続くスプーン印の魅力をもっと多くの方々に伝えていく広告キャンペーンとなっています。テレビコマーシャルの他、新聞、雑誌、Web、交通広告を展開しています。またホームページでは、CMメイキング映像がご覧いただけますので是非アクセスしてみてください。



●お問い合わせ
三井製糖(株)お客様相談窓口
電話:〇二二〇三三三三三三三
<http://www.mitsui-sugar.co.jp>

第22回 三栄会野球大会前夜祭開催 今年のお戦チーム決定開催



松澤代表世話人による開会宣言

今年も恒例の野球大会前夜祭が、三井物産本社地下一階多目的ホールで大会参加二四チームの代表者を集め盛大に開催されました。今年はこの試合の協賛として大会期間中の損害・賠償保険の三井物産インシュアランス(株)、ビーのアサヒビール(株)、ワインの三井物産コーラポトリング(株)、WEBページ作成の日本ビジネスシステムズ(株)、計四社の皆さまにお世話になることになりました。今回は昨年より三チーム少ない二四チームで、この前夜祭の抽選会で対戦チームが決定します。試合は昨年と同様にトーナメント方式で行われます。前夜祭は野球部会代表世話人の松澤孝氏(JA三井リース(株))の開会宣言に続いて、三栄会スポーツ交流委員長の儘田哲夫氏(三井物産ステイアールトレイ)から乾杯の発声をいただきました。

抽選の後、早速抽選会が始まりました。各チームの代表者が世話人の持つ袋から番号札を取り、対戦チームが決まることに大歓声が上がります。さらに、代表者から自社チームの紹介、今年に懸ける意気込みなどを熱く紹介いただきました。大いに盛り上がり、

二四チームの抽選が終わり、表一のようにトーナメント表が決定しました。試合は五月一六日(土)から昨年と同様、埼玉県のサンケイスポーツセンターで開始され、順調に進むと決勝戦は六月六日(土)になります。場所はすべてサンケイスポーツセンターです。皆様是非応援に来てください。詳細な情報が三栄会のホームページ(<http://www.san-eikai.or.jp/>)で公開されていますので是非ご覧ください。
広報委員会 日本ユニシス(株)/前田

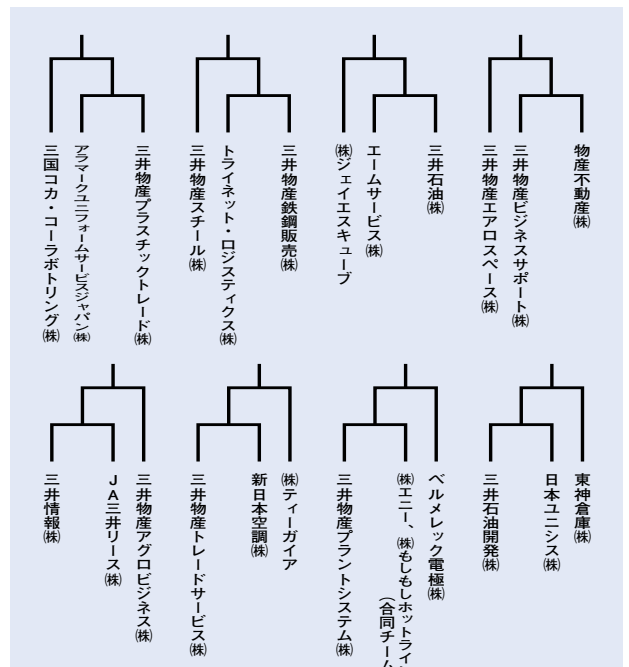


表1 第22回三栄会野球大会トーナメント表

お知らせ

(サンエィニュース74号以降)

- 東京三栄会退会
 - (株)フーズコンテナ (生活産業部会)
 - 物産ネットワークス(株) (生活産業部会)
 - 物産ケミカル(株) (化学品部会)
 - 東邦チタニウム(株) (金属・エネルギー部会)
 - (株)ジェイエスキューブ・サービス (生活産業部会)
 - ワイ・ケイ物流(株) (生活産業部会)
- 社名変更
 - 三井物産ケミカル(株) (旧社名 物産ケミカル(株)、三井物産ソルベント・コーティング(株))

東京三栄会加入会社数 116社 (2009年4月1日現在)